

## 中国信息（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2007年10月大豆市場観測情報については、中国農業部ホームページを通じ同年11月13日に発表されましたが、翌日になって同部ホームページ上から削除されたため、当機構としては、中国農業部によるその後の再発表に合わせるべく掲載のタイミングを図ってきたところです。しかし、当初の発表から1か月を経てなお再発表がないことや、発表内容が中国内外の関係機関の公表資料などにも掲載されていること等に鑑み、当機構としても「中国信息」の記事として掲載することとしました。

なお、この先、中国農業部から内容の変更等を伴う新たな発表があった場合には、事前の予告なしに本記事の内容について変更等を行うことがありますのでご留意願います。

2007年12月14日号

◎2007年10月大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年10月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

### 1 全国の大豆生産量は前年割れ

全国の大豆収穫は、10月末には基本的に終了した。2007年の全国の大豆生産量は、前年を下回ると予測されている。減算の主な原因は、以下のとおりである。

① 近年、大豆の比較収益が低下し、農民の栽培積極性が減退して、大豆播種面積が減少していること

② 主産地における旱魃が比較的深刻で、大豆の単収に影響を与えたこと

大豆の開花結莢に水を必要とするピーク期であったにもかかわらず、今年6～8月は、内蒙古自治区中東部や黒龍江省の三江平原及び松嫩平原、吉林省西部が歴史的な夏秋連続の旱魃に襲われ、一部地域では大豆の花や莢が落ち、単収減につながった。

## 2 大豆輸入はやや増、大豆油輸入は大幅増

2007年1～9月の中国の大豆輸入量は、前年同期比2.1%増の2,169.4万トンとなった。同じく輸出量は33.3%増の37.8万トンとなった。同期の大豆油輸入量は80%増の193.8万トン、輸出量は30.7%減の5.3万トンとなった。また、同期の大豆粕輸出量は1.9倍増の69.7万トン、大豆粕輸入量は96.8%減の2.2万トンとなった。

## 3 世界の大豆需給はひっ迫

米国農務省（USDA）の10月の予測によると、2007/08年度の世界の大豆生産量は、前年度比6.3%減の2.21億トンと予測されている。うち米国の大豆生産量の減少が比較的大きく、アルゼンチンはやや減、逆にブラジルは5.1%増とみられている。2007/08年度の世界の大豆消費量は、4.4%増の2.33億トンと見積もられている。また、同年度の期末在庫量は19.4%減の5,075万トンと予測され、世界の大豆需給はひっ迫するとみられている。

年初以来、米国の大豆減産や世界的なバイオディーゼル需要の増加などにより、大豆及び大豆製品の国際価格は小幅な上下を繰り返しながらも高騰を続け、大豆価格は史上最高水準に接近する勢いとなっている。10月30日の米国シカゴ取引所における大豆先物価格指数は1トン当たり376ドルで、前月比2.4%高、前年同月比56.2%高となった。同じく大豆油は936ドルで、前月比5.2%高、前年同月比52.5%高となった。大豆粕は310.7ドルで前月並み、前年同月比45.8%高となった。

## 4 全国の大豆及び大豆製品価格は引き続き上昇

2007年10月は、国産大豆の供給が全体的に逼迫したことや、輸入大豆価格が比較的高水準であったことなどから、国内図及び大豆製品価格も着実に上昇した。10月25日の黒龍江省搾油用大豆の買付価格は、1トン当たり3,824円で、前月比7.7%高、前年同月比72.6%高となった。山東地区の4級大豆油の工場出荷価格は同9,000円で、前月比5.9%高、前年同月比54.4%高となった。また、山東省の中等大豆粕の工場出荷価格は同3,455円で、前月比2.3%高、前年同月比58.9%高となった。

国際大豆価格及び海上輸送費の上昇という二重の影響により、輸入大豆価格は急速に高騰し、輸入大豆と国産大豆の内外価格差が拡大した。10月下旬の山東省の輸入大豆の通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）は、当地の国産大豆の仕入価格に比べ、1トン当たり200元前後高かった。

10月1日から、中国は向こう3カ月間にわたって、輸入大豆の関税率を現行の3%から1%に低減する暫定措置を実施しており、これにより現在の大豆CIF価格を計算すると、大豆の輸入コストを1トン当たり約80～100元節約することが可能である。ただし、最近は大豆の国際価格及び海上輸送費の上昇が続いており、大豆の輸入価格は着実に上昇するものと推測される。